

# 2022年度 日本気象学会東北支部第1回理事会 議案

日時：2022年7月6日（水）

1. 日本気象学会東北支部第33期役員選挙の結果	2 ページ
2. 理事欠員のための補充	2 ページ
3. 新支部長・常任理事の互選	2 ページ
4. 事業等の担当役員の選任	3 ページ
5. 2021年度事業報告及び会計報告	
1 2021年度事業報告	3 ページ
2 2021年度会計報告	6 ページ
6. 2021年度会計監査報告	7 ページ
7. 2022年度事業計画及び予算案	
1 2022年度事業計画案	8 ページ
1) 支部理事会	8 ページ
2) 支部だより	8 ページ
3) 支部気象講演会	8 ページ
4) 支部気象研究会	9 ページ
5) 日本気象予報士会東北支部と連携した活動	9 ページ
6) 日本気象学会小倉奨励賞などへの推薦	9 ページ
2 2022年度予算案	10 ページ
8. 2023年度秋季大会準備委員会の立ち上げ等の確認	11 ページ
9. その他（事務局から）	11 ページ
資料	
役員名簿案（第33期2022年度）	13 ページ
東北支部規則	14 ページ
東北支部細則	15 ページ

### 議題1. 日本気象学会東北支部第33期役員選挙の結果

第33期東北支部役員選挙は、岩淵幹事を選挙管理人とし3月26日告示、4月19日～5月16日投票、5月17日開票事務を実施。次のとおり役員が決定した(あいうえお順)。

#### 在仙理事

小出	寛	氏*	仙台管区気象台長
菅原	敏	氏	宮城教育大学教授
杉山	公利	氏	日本気象予報士会東北支部長
立原	秀一	氏*	仙台管区気象台気象防災部長
奈良	慶	氏	日本気象協会東北支社総務課長
橋本	竜	氏*	仙台管区気象台気象防災部予報課長
森本	真司	氏	東北大学大学院理学研究科教授
山崎	剛	氏	東北大学大学院理学研究科教授

#### 地方理事候補者2名、若干名(あいうえお順)

中舘	明	氏*	盛岡地方気象台長
谷田貝	亜紀代	氏	弘前大学大学院理工学研究科教授

#### 会計監査候補者1名、定数1名

島津	勝也	氏*	仙台管区気象台気象防災部次長
----	----	----	----------------

\*印は新任

### 議題2. 理事欠員のための補充

日本気象協会東北支社 奈良慶 理事が7月1日付人事異動により理事1名欠員。

「支部規則」第9条、「支部細則」12項の規定に基づき、理事会の推薦によって理事を補充する。事務局(案)は次のとおり。

#### 事務局(案)

日本気象協会東北支社 奈良慶 氏 の後任として、  
日本気象協会東北支社 中野裕 氏 を推薦する。

### 議題3. 新支部長・常任理事の互選

「支部規則」第10条に基づき、支部長及び常任理事を互選により定める。事務局(案)は次のとおり。

#### 事務局(案)

支部長	小出	寛	氏	仙台管区気象台長
常任理事	菅原	敏	氏	宮城教育大学教授
常任理事	杉山	公利	氏	日本気象予報士会東北支部長
常任理事	立原	秀一	氏	仙台管区気象台気象防災部長
常任理事	奈良	慶	氏	日本気象協会東北支社総務課長
常任理事	橋本	竜	氏	仙台管区気象台気象防災部予報課長

常任理事 森本 真司 氏  
常任理事 山崎 剛 氏

東北大学大学院理学研究科教授  
東北大学大学院理学研究科教授

#### 議題4. 事業等の担当役員の選任

事務局(案)は次のとおり

- |                           |                   |
|---------------------------|-------------------|
| ① 支部気象講演会<br>(2022年度岩手開催) | 山崎常任理事<br>○中館地方理事 |
| ② 支部気象研究会                 | ○橋本常任理事           |
| ③ 東北支部だより                 | 菅原常任理事            |
| ④ 日本気象予報士会東北支部と連携した活動     | 杉山常任理事            |
| ⑤ 支部事務局                   | ○橋本常任理事           |
| ⑥ 会計監査                    | ○島津会計監査           |

○印は新任

- ・東北支部第33期役員の任期は2023年度まで
- ・理事および会計監査に欠員を生じた場合は支部規則に沿う
- ・支部長の代行は支部規則に沿う

※ 日本気象学会東北支部第33期役員名簿案は、13ページのとおり。

#### 議題5. 2021年度事業報告及び会計報告

##### 1 2021年度事業報告

##### 1) 東北支部だより発行

###### ■第93号 (2021年10月発行)

- ・支部長就任あいさつ
- ・TOPIC「津軽の七つの雪」：安藤 昭芳氏 (青森地方気象台)
- ・2020年度 日本気象学会東北支部第2回理事会 議事抄録
- ・2021年度 日本気象学会東北支部第1回理事会 議事抄録
- ・日本気象学会東北支部気象講演会について
- ・東北支部「気象研究会」の開催案内と講演募集
- ・事務局からのお知らせ

###### ■第94号 (2022年3月発行)

- ・TOPIC「気象庁天気図の歴史について」  
：永山 隆治氏 (仙台管区気象台気象防災部予報課長)
- ・報告1「2021年度 日本気象学会東北支部気象研究会」  
：日本気象学会東北支部事務局
- ・報告2「2021年度 日本気象学会東北支部気象講演会開催」：福島地方気象台
- ・2021年度日本気象学会東北支部臨時理事会 議事抄録
- ・事務局からのお知らせ

## 2) 東北支部気象講演会

日 時：2021年12月11日（土）13時30分～16時00分

会 場：会場・Webのハイブリッド開催（会場：ラコパ福島）

テーマ：「気象と農業 ～気候変化と福島県の農業を考える～」

講演者：小野寺 晃一氏（福島地方気象台 技官）

安達 義輝氏（福島県農業総合センター果樹研究所 主任研究員）

吉田 龍平氏（福島大学 准教授）

参 加：約120名（会場及びWeb参加）

主 催：日本気象学会東北支部

共 催：気象庁福島地方気象台

後 援：福島県、福島市、日本気象協会東北支社、日本気象予報士会東北支部、地球  
ウォッチャーズ-気象友の会-、福島県農業協同組合中央会

## 3) 東北支部気象研究会

仙台管区気象台東北地方調査研究会との共催

日 時：2021年12月13日（月）13時00分～17時15分

会 場：仙台第3合同庁舎2階大会議室（仙台管区気象台）

講 演：13題

参加者：30名（会場参加のみ、その他Zoomによるオンライン配信実施）

気象研究会の発表演題、著者（敬称略、発表者に○）

なお紙面の都合上、仙台管区気象台東北地方調査研究会の題目は省略

- ・東北地方における地球温暖化に伴う気候変化－暖候期降水量について－  
○諸岡 浩子、岩崎 俊樹、山崎 剛（東北大学大学院理学研究科）
- ・6月の東シナ海域で見られる顕著な降水日周期の形成要因  
○山下 堯也、岩渕 弘信、岩崎 俊樹（東北大学大学院理学研究科）
- ・令和3年2月15日から17日にかけての発達した低気圧の解析  
山口 純平（青森地方気象台）
- ・2021年8月9日から10日にかけての青森県を中心とした大雨事例の調査  
○高野 一生、岩場 遊（仙台管区気象台）
- ・機械学習を用いたひろだい白神レーダーによる津軽平野の冬季降水量予測  
前田 未央、○谷田貝 亜紀代、今井 雅（弘前大学大学院理工学研究科）

- ・2020/2021 年の弘前市における降水の安定同位体比の特徴について  
○上野 優 (弘前大学理工学部)、谷田貝 亜紀代 (弘前大学大学院理工学研究科)、芳村 圭 (東京大学生産技術研究所)

また、日本気象学会東北支部発表賞の今年度の受賞者は以下のとおり。

- 山口純平 (青森地方気象台)  
「令和3年2月15日から17日にかけての発達した低気圧の解析」
- 上野優 (弘前大学)  
「2020/2021年の弘前市における降水の安定同位体比の特徴について」

#### 4) 支部理事会

- ・第1回 (Web開催 2021年7月7日)
- ・臨時理事会 (書面開催 2021年12月20日～同月27日)
- ・第2回 (Web開催 2022年3月7日)

#### 5) 日本気象予報士会東北支部と連携した活動 (気象サイエンスカフェ東北)

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止することとした。

#### 6) 日本気象学会小倉奨励賞の推薦

- ・推薦はなし

## 2 2021年度会計報告

〔〔支部一般会計〕 (2021年4月1日～2022年3月31日)〕

	予算額	決算額	差異 [予算-決算]
<b>I 収入の部</b>			
<b>事業活動収入</b>			
<b>本部交付金</b>			
一般交付金(仮名)	*1534,800円	534,800円	0円
普及啓発活動への助成	*240,000円	40,000円	0円
気象予報士会東北支部分担金	*220,000円	0円	20,000円
<b>前期繰越金</b>	345,573円	345,573円	0円
<b>事業収入(広告料等)</b>	0円	0円	0円
<b>雑収入</b>			
預金利息	5円	5円	0円
<b>事業活動収入計(1)</b>	940,378円	920,378円	20,000円
<b>II 支出の部</b>			
<b>事業活動支出</b>			
<b>事業費支出</b>			
支部気象講演会	250,000円	203,961円	46,039円
支部気象研究会	100,000円	37,548円	62,452円
支部だより	200,000円	196,300円	3,700円
気象サイエンスカフェ東北	*260,000円	0円	60,000円
ホームページ運営費	15,000円	15,000円	0円
<b>管理費支出</b>			
支部理事会	85,000円	0円	85,000円
支部役員選挙	0円	7,560円	△7,560円
事務費	10,000円	19,920円	△9,920円
<b>事業活動支出計(2)</b>	720,000円	480,289円	239,711円
<b>III 予備費支出</b>			
予備費支出	220,378円	0円	220,378円
<b>予備費支出計(3)</b>	220,378円	0円	220,378円
<b>当期収支 (A)=(1)-(2)-(3)</b>	0円	440,089円	
<b>次期繰越額 (A)-(残りの支出予定額)</b>	0円	440,089円	

\*1一般交付金は、支部会員154名×1,200円+35万円。

\*22021年度の日本気象予報士会東北支部と連携した活動は中止。

議題6. 2021年度会計監査報告

預金通帳、領収書を照合の結果、誤りが無いことを認めます。

2022年3月29日

日本気象学会東北支部会計監査

石井弘樹 

## 議題7. 2022年度事業計画及び予算案

### 1 2022年度支部活動計画

#### 1) 東北支部理事会の開催

- ・例年は年2回（5～7月、3月頃予定）開催している。
- ・議論が必要な場合は、適宜臨時理事会を開催する。

#### 2) 東北支部だより発行

- ・年2回発行(第95号、96号)の予定。
- ・作業簡略のため、発行作業は原稿のとりまとめまでとし、編集、印刷及び会員への発送は2021年度と同様に業者発注とする。

##### ■第95号（2022年9月発行予定）

- ・新支部長あいさつ
- ・TOPIC「タイトル未定」  
山崎 剛氏（東北大学大学院理学研究科教授）
- ・議事抄録（2021年度日本気象学会東北支部第2回理事会、2022年度日本気象学会東北支部第1回理事会）
- ・日本気象学会東北支部第33期役員選挙結果について
- ・日本気象学会東北支部気象講演会について
- ・東北支部「気象研究会」の開催案内と講演募集
- ・事務局からのお知らせ
- ・編集後記

#### 3) 東北支部気象講演会

##### 【概要】

日 時：未定  
会 場：未定（岩手県内）  
テーマ：未定  
講 師：未定

- ・2022年度は岩手県で開催予定。

2013年度以降の開催状況

年度	開催地	講演者		
2013年度	弘前市	楠 研一	児玉 安正	
2014年度	福島市	渡邊 明	小畑 英樹	
2015年度	仙台市	岩崎 俊樹	小森 大輔	廣川 康隆
2016年度	盛岡市	山本 浩之	名越 利幸	

2017年度	秋田市	和田 幸一郎	本谷 研	
2018年度	山形市	小杉 健二	川瀬 宏明	
2019年度	弘前市	加藤 輝之	木所 英昭	
2020年度	仙台市 (web開催)	岩井 弘樹	早坂 忠裕	
2021年度	福島市 (Web開催)	小野寺 晃一	安達 義輝	吉田 龍平

方針：気象講演会は原則として「持ちまわり」で開催する。ただし、他のイベント等との同年開催については配慮を行うとともに、会員等からの開催・運営の意向があった場合、宮城県等他県での開催も可能とし、担当理事がこれを調整する。なお開催地を変更する場合は、準備の都合上、開催前年度の第2回理事会前（例年2月～3月）に東北支部事務局へ通知することとする。

#### 4) 東北支部気象研究会

2022年度の開催については、仙台管区気象台 防災調査課と検討し、気象台の東北地方調査研究会と東北支部気象研究会の合同発表会の形式で行うことを計画する。

#### 5) 日本気象予報士会東北支部と連携した活動（気象サイエンスカフェ東北）

- ・第11回気象サイエンスカフェ東北を、仙台市で開催する。テーマや講師等は、日本気象予報士会東北支部と連携して検討を行う※。

##### 【概要】

日 時：未定

会 場：未定

テーマ：未定

※例年通りの対面式での実施を基本方針とし、コロナ禍の影響等により10月末までに開催の見込みが立たない場合は今年度の開催を中止とする。

#### 6) 日本気象学会小倉奨励賞などへの推薦

## 2 2022 年度予算案

〔支部一般会計〕（※マイナスの金額には、△印を付した。）

	2022 年度 予算額	2021 年度 予算額	予算増減額 [2022 年—2021 年]	2021 年度 決算額
<b>I 収入の部</b>				
<b>事業活動収入</b>				
<b>本部交付金</b>				
一般交付金(仮名)	*1532,400 円	534,800 円	△2,400 円	534,800 円
普及啓発活動への助成	40,000 円	40,000 円	0 円	40,000 円
気象予報士会東北支部分担金	*220,000 円	20,000 円	0 円	0 円
<b>前期繰越金</b>	440,089 円	345,573 円	94,516 円	345,573 円
<b>事業収入(広告料等)</b>	0 円	0 円	0 円	0 円
<b>雑収入</b>				
預金利息	5 円	5 円	0 円	5 円
<b>事業活動収入計(1)</b>	1,032,494 円	940,378 円	92,116 円	920,378 円
<b>II 支出の部</b>				
<b>事業活動支出</b>				
<b>事業費支出</b>				
支部気象講演会	250,000 円	250,000 円	0 円	203,961 円
支部気象研究会	100,000 円	100,000 円	0 円	37,548 円
支部だより	200,000 円	200,000 円	0 円	196,300 円
気象サイエンスカフェ東北	60,000 円	60,000 円	0 円	0 円
ホームページ運営費	15,000 円	15,000 円	0 円	15,000 円
<b>管理費支出</b>				
支部理事会	85,000 円	85,000 円	0 円	0 円
支部役員選挙	30,000 円	0 円	30,000 円	7,560 円
事務費	10,000 円	10,000 円	0 円	19,920 円
<b>事業活動支出計(2)</b>	750,000 円	720,000 円	30,000 円	480,289 円
<b>III 予備費支出</b>				
予備費支出	282,494 円	220,378 円	62,116 円	0 円
<b>予備費支出計(3)</b>	282,494 円	220,378 円	62,116 円	0 円
<b>当期収支差額</b> (A)=(1)-(2)-(3)	0 円	0 円	0 円	440,089 円

\*1一般交付金は、支部会員152名×1,200円+35万円。

\*22022年度気象予報士会東北支部分担金は予定。

## 議題8. 2023年度秋季大会準備委員会の立ち上げ等の確認

- ・2023年秋季大会に向けて、前回同様に準備委員会を立ち上げ、日程、予算や実行委員会メンバーの検討などを始める。
- ・第1回目の準備委員会は7月12日（火）開催予定。準備委員会メンバーは別紙1のとおり。

## 議題9. その他（事務局から）

### ① 東北支部会員数（個人会員）

2022年6月28日現在

県名	会員数	2022.02.28
青森県	19名	21名
岩手県	10名	11名
秋田県	12名	13名
山形県	12名	12名
宮城県	78名	74名
福島県	21名	20名
合計	152名	151名

1名増

支部メーリングリスト登録者数

2022年6月28日現在

県名	登録者数	2022.02.28
青森県	17名	19名
岩手県	7名	7名
秋田県	11名	12名
山形県	10名	10名
宮城県	74名	70名
福島県	17名	16名
合計	136名	134名

2名増

### ② 旅費等について

交通費については

青森は 22,900円 [11,420円×2]

弘前は 23,300円 [11,640円×2]

秋田は 21,100円 [10,560円×2]

盛岡は 13,600円 [6,790円×2]

山形は 2,400円 [1,170円×2]

福島は 2,700円 [1,340円×2]

仙台、岩沼は片道 500 円をお願いします。

※100 円未満の端数は切り上げています。

なお、支部活動における旅費の支給は、上記に準ずるものとします。

消費税率引き上げ（2019 年 10 月 1 日）による運賃・料金の改正を適用。

## 日本気象学会東北支部第33期2022年度役員名簿（案）

2022年7月6日現在

支部長	小出 寛	仙台管区气象台長
常任理事	菅原 敏	宮城教育大学教授（理科教育講座）
	杉山 公利	日本気象予報士会東北支部長
	立原 秀一	仙台管区气象台気象防災部長
	中野 裕	日本気象協会東北支社総務課長
	橋本 竜	仙台管区气象台気象防災部予報課長
	森本 真司	東北大学大学院教授（理学研究科）
	山崎 剛	東北大学大学院教授（理学研究科）
地方理事	中館 明	盛岡地方气象台長
	谷田貝 亜紀代	弘前大学大学院教授（理工学研究科）
会計監査	島津 勝也	仙台管区气象台気象防災部次長
幹事	伊藤 純至	東北大学大学院准教授（理学研究科）
	岩渕 弘信	東北大学大学院准教授（理学研究科）
	渕上 隆雄	仙台管区气象台気象防災部地球環境・海洋課 沿岸防災調整官
	蒔苗 仁	仙台管区气象台気象防災部防災調査課 調査官

## 日本気象学会東北支部規則

昭和 32. 5. 26	成立
昭和 32. 7. 5	第 8. 11 条を改正、 第 15～19 条を追加
昭和 40. 11. 18	第 8 条を改正
昭和 56. 10. 12	第 2 条を改正
昭和 60. 3. 19	第 9 条を改正
平成 2. 6. 21	第 8 条を改正
平成 6. 2. 28	第 8. 9. 12. 14. 18 条を改正
平成 9. 6. 3	第 2 条を改正
平成 22. 6. 11	第 8 条を改正
平成 25. 6. 20	第 1. 2. 18 条を改正
平成 27. 3. 12	第 18 条を改正
平成 28. 2. 29	第 13 条を改正

- 第 1 条 本支部は公益社団法人日本気象学会東北支部という。
- 第 2 条 本支部は事務所を仙台市宮城野区五輪一丁目 3 番 15 号第 3 合同庁舎、仙台管区気象台内に置く。
- 第 3 条 本支部は東北 6 県に在住する全ての日本気象学会員で構成される。
- 第 4 条 本支部は日本気象学会の定款の範囲内で事業を行うが、特に支部会員の研究の奨励、推進ならびに相互の連絡につとめることを目的とする。
- 第 5 条 本支部は前条の目的を達成するために、講演会ならびに学術的会合の開催、その他この支部の目的にかなう事業を行う。
- 第 6 条 本支部の事業年度は毎年 4 月 1 日にはじまり、翌年 3 月 31 日に終わる。
- 第 7 条 本規則の実行に必要な細則は、支部理事会の決議によって別に定める。
- 第 8 条 本支部に次の役員を置く。  
理事 8～11 名（常任理事 2～8 名内支部長 1 名）、会計監査 1 名。
- 第 9 条 理事および会計監査は支部会員の選挙によって定める。  
ただし、任期中に欠員が生じた場合は細則の定めるところによって補充する。
- 第 10 条 支部長および常任理事は理事の互選によって理事の中から定める。
- 第 11 条 支部長はこの支部を代表して会務を総理する。支部長に事故があるとき、または欠けたときは、支部長があらかじめ指名した常任理事がその職務を代行する。
- 第 12 条 理事はこの支部の会務を行う。会計監査は支部の会計を監査する。
- 第 13 条 支部長は必要に応じ、会務の一部を処理するため幹事（3～4 名）を置くことができる。
- 第 14 条 理事および会計監査の任期は 2 年とする。ただし、重任は妨げない。  
理事および会計監査は任期満了後でも後任者の就任するまでその職務を行う。
- 第 15 条 支部長は毎年 1 回および必要に応じて理事会を招集する。
- 第 16 条 理事会は過半数の理事の出席がなければ成立しない。
- 第 17 条 支部長は次の事項を理事会の承認を得て会員に報告しなければならない。  
（1）事業計画および収支決算  
（2）その他理事会において必要と認めた事項
- 第 18 条 本支部の経費は本部交付金（支部強化基金を含む）と寄付金とする。
- 第 19 条 この規約は理事の 3 分の 2 以上の賛成を得なければ変更することができない。
- 付則
- 第 20 条 この支部の設立当初の役員は設立準備会でこれを選任する。

以上

## 日本気象学会東北支部細則

昭和 33. 7. 5	成立
昭和 40. 11. 18	1 項を改正
昭和 41. 3. 15	7 項を改正
昭和 60. 3. 19	12、13、14 の各項を改正
平成 6. 2. 28	1、8、9、12、13 の各項を改正
平成 22. 6. 11	1 項を改正
平成 27. 3. 12	1 項を改正
令和 1. 7. 10	日本気象学会東北支部発表賞の条項を追加

### 1. 理事選挙

- 1 理事は東北地区在住の会員より 8～11 名選出する。このうち在仙理事 5～8 名、地方理事若干名とする。  
会計監査は東北地区在住の会員より 1 名を選出する。
- 2 次期理事の定数および在仙・地方別理事数は理事会で決定する。
- 3 候補者は理事会の推薦者および立候補者とし、投票締切日の 20 日前までに決定のうえ、会員に周知させるものとする。
- 4 立候補者は投票締切日の 30 日前まで支部長宛に届け出るものとする。
- 5 投票は無記名連記とする。ただし、連記数は第 2 項の決定による在仙・地方別理事数とする。
- 6 投票は文書投票とする。
- 7 有効投票により、各地区別に投票の多い順に次期理事を決定する。同数の場合は年少者を上位とする。ただし、得票数が有権者の 10 分の 1 に満たない者は理事に就任することができない。次点者も同様とする。
- 8 当選者が理事および会計監査就任を辞退した場合は次点者を繰り上げる。
- 9 理事および会計監査に欠員が生じた場合の補充は次点者をあてる。
- 10 開票は常任理事立ち会いのもと行う。
- 11 開票の結果は会員に報告する。
- 12 理事および会計監査に欠員を生じ、第 9 項による補充ができない場合は、理事会の推薦によって補充する。
- 13 第 9 項または第 12 項による補充理事および会計監査の任期は前理事および会計監査の残存期間とする。
- 14 そのほか選挙にあたって必要事項は支部長が決定し、事後に理事会に報告する。

### 2. 日本気象学会東北支部発表賞

- 1 日本気象学会東北支部発表賞（以下「支部発表賞」という。）受賞者を選定するため、支部発表賞候補者推薦委員会を設ける。
- 2 委員会は支部常任理事および支部長が指名した支部会員をもって組織する。
- 3 委員会は、支部研究発表会において優れた講演を行った支部会員から、原則として 2 名程度を選び、受賞者を支部理事会に推薦する。原則、半数以上を学生会員とする。ただし、委員は受賞対象とはならない。
- 4 支部発表賞は賞状・副賞（賞金）とし、これを受賞者に贈呈する。

以上